

一 般 質 問 通 告 書

大 台 町 議 会

令和8年第2回定例会

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告（質問事項）

通告順	（議席番号）議員氏名	質問事項
1番	（5）小林保男	①中学校統合問題について ②小学校の再編について ③文化施設整備について
2番	（4）米森清裕	①空き家・空き店舗の活用について ②公共施設整備事業について
3番	（3）坂東千晴	①三瀬谷駅周辺の利便性向上と公共交通拠点としての整備について ②鹿の出没による交通事故防止と注意喚起について
4番	（2）小野恵司	①6月補正予算における町長の重点施策について ②中東情勢の影響による建設資材価格高騰と公共工事への対応について ③ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンについて ④ピロリ菌検査について
5番	（7）宮田明彦	①熊野街道等を活用した関係人口の増加について ②集会所や井戸等を活用した地域防災と共助の拠点づくりについて
6番	（10）古家大輔	①地域経済循環と若者定住支援策について
7番	（1）堀江洋子	①パワハラ行為に関する内部告発と、副町長の職務、役割、実務について ②わたしたちのミッションと行動指針について
8番	（9）前納太輔	①獣害対策について

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	1番	議席番号	5番	議員氏名	小林 保男
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
①中学校統合問題 について	<p>令和6年12月の全員協議会で、前町長は中学校の統合に早急に着手し、最短で令和8年4月に新中学校を開校すると表明されました。しかしながらその時点では保護者等への説明がされていない状態であり、その後説明会が開かれ、統合に向けた取組が進められています。そこで伺います。</p> <p>(1) 説明会は何回ほど開かれましたか。</p> <p>(2) どのような内容ですか。</p> <p>(3) 保護者からはどのような意見がでましたか。</p>				町長 教育長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	1番	議席番号	5番	議員氏名	小林 保男	質問の相手	
質問事項		質問内容要旨				質問の相手	
②小学校の再編について	<p>大台町立小学校のありかた検討委員会の答申が、本年3月に提出されました。内容は宮川地区1校、日進・川添・三瀬谷地区で1校との答申でした。人口減少に伴っての統廃合ですが、そこで伺います。</p> <p>(1) 校舎建設の場所が示されていません。場所によっては反対の声が出てくると思われます。どのようにお考えか伺います。</p> <p>(2) 旧大台地域の小学校は校舎建設から60年以上経過しています。早急な建て替えが必要です。教育委員会としては何年頃を目途に計画をしていますか。</p> <p>(3) 建設時期にもよりますが、校舎はどれほどの規模を想定していますか。</p>				町長 教育長		
③文化施設整備について	<p>以前図書館、資料館を含む文化施設の計画が出されました。その後文化施設整備検討委員会が設置され、令和6年7月に第1回検討委員会が開催され、令和8年2月に委員会から意見書が提出されました。意見書では概ね既存施設の活用が良いのではとのことでした。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 文化ホールについては議会・町民アンケート・委員会共に慎重論でしたが、執行部としてはどのようにお考えか。</p> <p>(2) 図書館や資料館については新築による整備が必要ではないかと考えるが、教育委員会としての見解は。</p> <p>(3) 町民アンケートのまとめでは、「新しく整備することとした場合、大台病院跡地への建設は、半数ほどの人には理解がある。」とあるが、これは他の候補地も示しての意見であったのか。</p>				町長 教育長		

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	2番	議席番号	4番	議員氏名	米森 清裕
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
①空き家・空き店舗の活用について	<p>令和7年第3回定例会で、空き店舗等活用促進事業補助金交付要綱第3条第2項第1号の規定「補助金以外の経費の全部又は一部について、必ず金融機関の融資を受けていること」を削除してはどうかと質問しました。町は「第三者である金融機関の審査を通じて事業計画・資金計画の妥当性と開業後の事業継続の可能性を確認でき、見積書や契約書類も整備されることから、補助金の適正かつ効果的な執行と不正受給のリスクを回避することを目的として本要件を設けている。」との答弁でした。この答弁によると、町の職務を金融機関に委託し、その代りに金融機関から強制的に融資を受けさせているように思える。このような事は、町の職務怠慢と責任転嫁ではないかと考える。</p> <p>(1) 「補助金の適正かつ効果的な執行」と答弁されていますけど、これは町の職務であり、融資との関係はあるのか。</p> <p>また、不正受給のリスクの回避と答弁されていますが、どのような不正受給を想定されているのか。</p> <p>(2) 経営審査は金融機関以外の機関ではだめなのか。</p> <p>(3) 空き家改修費補助金交付要綱には金融機関の融資の規定はありません。この差はなにか。</p>				町長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	2番	議席番号	4番	議員氏名	米森 清裕
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
②公共施設整備事業について	<p>(1) 本庁舎は平成12年に竣工して、すでに26年経過しています。本庁舎の構造は鉄骨であり鉄の厚みで異なりますが、法定耐用年数は、最高であと12年です。町は庁舎の建て替えをする予定はあるのか。あればいつか。</p> <p>(2) 空調設備更新工事を取り組む前に、南海トラフ地震による本庁舎の崩壊・焼失、または本庁舎の耐用年数による建て替えを考慮したのか。地震の影響などにより工事が中断した場合の対応について、契約はどうなっているのか。</p> <p>(3) 今後の公共施設整備事業のうち、LED化事業を計画されています。この事業の目的の中に、CO2排出量削減があるが、町全体のCO2排出量削減を考えると一般家庭や事業所のLED化のほうが効果的と考える。一般家庭や事業所を対象にしたLED化に対する補助を行う考えはないか。</p> <p>(4) 財政難と聞きますが最近、公共施設整備に多額の財源を投入しているように思われます。現在物価高騰による町民の生活は困窮に迫られています。今後計画されている公共施設整備を延期する考えはないか。</p>				町長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	3番	議席番号	3番	議員氏名	坂東 千晴	質問の相手	
質問事項	質問内容要旨					質問の相手	
①三瀬谷駅周辺の 利便性向上と公 共交通拠点とし ての整備につい て	<p>三瀬谷駅は、本町の公共交通の拠点であり、通学・通勤、高齢者の移動、観光客や来訪者の玄関口として重要な役割を担っている。</p> <p>一方で、三瀬谷駅前送迎車両の停車位置、町営バス乗り場、タクシー乗り場、三重交通バスの乗り場などが分かりにくく、駅前としての利用しやすさや、町の玄関口としての印象づくりにも課題があると考える。</p> <p>また、町営駐車場から三瀬谷駅への歩行者導線は不便であり、駅利用者が自家用車を駐車して JR を利用する際にも課題がある。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 三瀬谷駅前について、利用環境を整理するとともに、町の玄関口として来訪者に分かりやすく、印象に残る駅前空間へ再整備する考えはあるか。</p> <p>(2) 町営駐車場側からの歩行者導線の改善について、JR 東海など関係機関との協議は進んでいるか。また、今後協議を進める考えはあるか。</p>					町長	
②鹿の出没による 交通事故防止と 注意喚起につい て	<p>大台町では、鹿の出没が増加していると感じられ、住民からも交通事故防止に向けた対策を求める声がある。鹿は体が大きく、車両と接触した場合には車両への損傷だけでなく、運転者や同乗者の生命・身体に関わる事故につながるおそれがある。</p> <p>そこで、鹿の出没状況や、道路上で鹿が車両と衝突・接触する事故、いわゆるロードキルの実態把握、危険箇所への注意喚起など、鹿の出没による交通事故防止について、町の考えを伺う。</p>					町長	

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	4番	議席番号	2番	議員氏名	小野 恵司
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
①6月補正予算における町長の重点施策について	<p>町長は本年2月12日に就任され、3月議会においては骨格予算、そして今回の6月議会は、町長の政策や考え方が本格的に反映される“肉付け予算”であると考えております。そこでお伺いします。</p> <p>(1) 今回の予算編成において、町長として特に重点を置いた施策、いわゆる“目玉事業”の内容と、どのように位置付けておられるのか見解を伺います。</p> <p>(2) 限られた財源の中で、あえて優先して予算配分を行った分野はどこであり、その理由をどのように考えられたのか伺います。</p> <p>(3) 町民の皆様が「新町長になって何が変わるのか」を実感できる施策や、今後の大台町をどのような方向へ導いていこうと考えておられるのか伺います。</p>				町長
②中東情勢の影響による建設資材価格高騰と公共工事への対応について	<p>中東情勢の悪化に伴い、原油価格の上昇や物流の不安定化が懸念されており、建設資材の価格高騰や供給の不安定化が続いています。こうした状況は、町発注工事において、計画していた工事規模の確保が困難になることや、入札不調、工期への影響なども懸念されます。そこで、今後の公共工事を円滑かつ計画的に執行していくための対応について見解を伺います。</p> <p>(1) 建設資材の価格高騰や供給状況について、町はどのように認識しており、今後の町発注工事への影響をどのように見込んでいるか伺います。</p> <p>(2) 今後予定している町発注工事において、建設資材価格の高騰に対応した設計単価の適正化について、どのように対応していくのか伺います。</p> <p>(3) 計画していた工事規模の確保が困難になることや、入札不調、工期延長等への影響なども想定されますが、その対応等について見解を伺います。</p> <p>(4) インフラ施設の維持管理は将来にわたり継続していく必要がある中で、労務単価や建設資材価格の上昇、資材供給の不安定化により、今後は更新費用の増加も見込まれます。</p>				町長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	4番	議席番号	2番	議員氏名	小野 恵司
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
	<p>誰もが利用するインフラ施設は住民生活に直結する重要な事業であり、財政的な負担も考慮すると、大規模修繕に至る前に細かな維持修繕を行い、施設の長寿命化に努めていくことが重要と考えますが、町の見解を伺います。</p>				
③ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについて	<p>現在、本町においては、ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについて、女性を対象とした接種支援が行われており、子宮頸がん予防の観点から重要な施策であると評価しております。</p> <p>一方で、HPVは女性のみならず男性にも感染するウイルスであり、男性においても中咽頭がんや肛門がんなどの原因となることが指摘されております。</p> <p>また、HPVは男女間で感染することから、女性のみの方策では感染拡大の抑制としては十分とは言えず、男性を含めた対策が重要であると考えます。</p> <p>現在、男性へのワクチン接種は任意接種ではありますが、自治体独自の取り組みとして助成制度を導入する動きが広がっております。</p> <p>例えば、三重県内では松阪市において男性への助成が実施されており、また都市部のみならず他の自治体においても導入が進んでいる状況にあります。</p> <p>こうした状況を踏まえ、本町においても、感染症対策の観点及び男女間の予防機会の公平性の観点から、男児へのHPVワクチン接種に対する助成制度の導入を検討すべきと考えます。さらに、将来的な医療費の抑制や健康寿命の延伸という点からも、予防医療への投資は重要であり、費用対効果の面からも検討に値するものと考えます。そこでお尋ねいたします。</p> <p>本町における男児へのHPVワクチン接種助成について、現時点での認識と、今後について見解を伺います。</p>				町長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	4番	議席番号	2番	議員氏名	小野 恵司
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
④ピロリ菌検査について	<p>ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）とは、胃の粘膜に生息する細菌で、強酸性の胃酸の影響を受けずに生存できます。主に、慢性胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍などの消化器系の病気を引き起こす原因となります。</p> <p>WHOによると、全世界の胃がんの約80%がピロリ菌感染によるものとされています。松阪市では、将来の胃がん発症予防のため、中学生ピロリ菌検査事業を実施しています。早期発見・早期治療により胃がんを予防することが期待できます。検査の受け方として、市内の市立中学3年生の方に対し、4月に学校を通じて検査申込書を配布し、検査申込書の「ピロリ菌検査をする・しない」のどちらかに丸をし、必要事項を記入して「申込書提出用封筒」に入れて、期日までに学校へ提出します。ピロリ菌検査希望の場合は、学校検尿で提出した尿を使って検査を実施するという事業であります。</p> <p>大変素晴らしい事業でありますし、昨年12月に行われました、中央病院主催のがん講演についてもこの事例が将来の胃がんリスクを大幅に軽減する事業と言われておりました。今後、大台町でも実施や必要性について検討していく必要があると考えますが、見解を伺います。</p>				町長 教育長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	5番	議席番号	7番	議員氏名	宮田 明彦
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
①熊野街道等を活用した関係人口の増加について	<p>本町には、熊野街道をはじめ、宮川地域の豊かな自然など、他地域にはない魅力がある。近年、地域との多様な関わり方として、「関係人口」という考え方が注目されている。単に観光として訪れるだけではなく、地域に愛着を持ち、何度も訪れ、地域の人と交流する関係づくりは、人口減少が進む地方において重要な取組であると考えている。</p> <p>また、現代の観光は、観光地を巡るだけではなく、「歩く」「地域で過ごす」「地域の人と触れ合う」といった体験型へと変化している。特に熊野街道は、一つの拠点を見るだけでなく、街道そのものを楽しむ価値がある。こうした地域資源を生かしながら、町全体で「おもてなしの町」として関係人口を増やしていくことが、地域活性化だけでなく、地域コミュニティの維持にもつながると考えている。</p> <p>そこで5点について伺う。</p> <p>(1) 熊野街道や宮川地域の自然資源を活用した関係人口増加について、どのような方向性で取り組んでいるのか。</p> <p>(2) 現在の観光は、「目的地を見る観光」から、「地域を歩き、人と交流する観光」へ変化していると考えている。熊野街道についても、各拠点だけでなく、街道全体を楽しんでいただく視点が重要と考える。街道利用者が地域住民と交流しやすい環境づくりについて、町の見解を伺う。</p> <p>(3) 日進公民館周辺には、東屋、公衆トイレ、掲示板など、街道利用者にとって活用可能な施設がある。こうした既存施設について、街道を歩く方々にトイレや給水所があることを知ってもらい、活用してもらうことが大切だと考える。また、そのためには、掲示板の充実などにより、利用する方にとって必要な情報を提供することが、重要だと考える。日進公民館周辺施設などを活用した、おもてなし環境整備について町のを伺う。</p>				町長 教育長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	5番	議席番号	7番	議員氏名	宮田 明彦
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
	<p>(4) 熊野街道沿いの集会所等について、地域の実情に応じながら、ベンチの設置やトイレ利用などを進め、地域住民と関係人口の方々が自然に交流できる場づくりを支援できないか。</p> <p>(5) 町ぐるみのおもてなしとして、挨拶運動や声かけ、地域案内など、住民参加型のおもてなし活動の取組を進める考えはないか。</p>				
②集会所や井戸等を活用した地域防災と共助の拠点づくりについて	<p>災害時には、公助だけでなく、地域住民同士の共助が重要である。しかし、共助は災害時だけ急に生まれるものではなく、日頃からの地域のつながりの中で育まれるものとする。</p> <p>そのためには、地域住民が気軽に集まり、顔の見える関係をつくることのできる拠点が重要であるとする。</p> <p>そこで2点について伺う。</p> <p>(1) 集会所を地域交流及び共助の拠点として、どのように位置づけているのか。</p> <p>(2) 井戸は、災害時の生活用水だけでなく、熱中症対策や熊野街道利用者への給水スポットなど、多面的な活用可能性があるとする。地域資源として調査・活用を進める考えはないか。</p>				町長 教育長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	6番	議席番号	10番	議員氏名	古家 大輔	質問の相手	
質問事項		質問内容要旨				質問の相手	
① 地域経済循環と若者定住支援策について	<p>大台町が直面している人口オーナスという生産年齢人口の減少は、医療・介護といった社会保障費の負担増や地域経済・地域活動の縮小を加速させるなど、町の未来に暗い影を落としつつあります。ゆえに、大台町にとって人口減少対策は、一丁目一番地の課題であるといえます。</p> <p>人口減少対策を3つの柱に分けるとすると、第1の柱は、「若者のUターン」すなわち私たち町民の子や孫の帰郷です。そして第2の柱は「Iターン」すなわち移住・定住や担い手の誘致、そして第3の柱は「関係人口の拡大」すなわち本町のファンや関係者を増やす活動であるといえます。これらは本町にとってどれも欠かすことができず、同時並行で対策を講じていかなければなりません。特に「若者のUターン」は、町民にとって子や孫との豊かな暮らしにつながる幸福度の高い施策であるといえるのではないのでしょうか。そこで、大台町における若者の定住支援について、現在の具体的な取組状況を確認するとともに、今後本町が目指すべき『戦略的な若者定住支援策』について伺います。</p> <p>(1) 大台町では、令和4年度に新型コロナウイルス感染症の影響で帰省機会が減少した県外在住のご家族等を対象に、町の特産品を届ける「ふるさと応援便」事業を実施していました。現在、ふるさと納税額の減少が課題となる中、県外で暮らす大台町出身の若者とのつながりを維持し、将来的なUターンへの動機付けとする目的で、事業を再構築し実施してはどうかと考えますが、見解を伺います。</p>				町長		

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	6番	議席番号	10番	議員氏名	古家 大輔
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
	<p>(2) 三重県では、若者の県内定着及び県内産業の振興を図るため、県内での居住かつ就業等を条件に大学等の奨学金返還額の一部を助成する「三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業」を行っています。特に令和6年度からは、減少が著しい大台町を含む南部地域に「優先枠」が設けられています。紀宝町では、町独自で県事業と併用可能な返還支援事業を行っていますが、大台町においても過疎債等を財源として活用し、同様の支援事業を検討できないか、見解を伺います。</p> <p>(3) 現在、大台町では子育て世代向けにリノベーション済みの空き家を貸し出す「子育て世帯向けお試し住宅」事業を展開しています。町内に拡大する空き家の利活用をさらに一歩先へ進めるため、空き家物件を長期的に確保し、地元の建築・建設業者へリノベーションを発注・施工した上で、若者世代へ格安で賃貸・譲渡するような、地域経済循環型の新しい定住支援事業を計画できないか、見解を伺います。</p> <p>(4) 県外で暮らす若者と町が接する機会は多くありません。そんな中でも、町内で例年開催している「二十歳のつどい」は、極めて貴重な接触・交流の機会です。本町では、令和9年度からLINEによるデジタル情報発信の開始に向け計画を進めていると聞いていますが、これを機会に町外で暮らす若者世代である参加者を対象に登録・連携を促し、町内外の就職情報や各種助成事業、町のタイムリーな魅力を直接若者世代へ届ける、機動的なUターン支援を行うべきではないかと考えますが、見解を伺います。</p>				

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	7番	議席番号	1番	議員氏名	堀江 洋子	質問の相手	
質問事項		質問内容要旨				質問の相手	
①パワハラ行為に関する内部告発と、副町長の職務、役割、実務について	<p>(1) 私のもとに「パワハラ行為に関する内部告発」(令和8年2月16日)が寄せられました。町においては「大台町職員のハラスメントの防止等に関する規程」が策定されていますが、良好な職場環境は確保されていますか。</p> <p>(2) 地方自治法第167条において「副知事及び副市町村長は、普通地方公共団体の長を補佐し、普通地方公共団体の長の命を受け政策及び企画をつかさどり、その補助機関である職員の担任する事務を監督し、別に定めるところにより、普通地方公共団体の長の職務を代理する。」と規定されています。</p> <p>組織のナンバー2である副町長は、大変重い責任がありますが、副町長の職務、役割、実務についての認識を伺います。</p>				町長		
②わたしたちのミッションと行動指針について	<p>(1) 令和8年5月22日の全員協議会において「わたしたちのミッションと行動指針」について、町長から報告がありました。</p> <p>町長は「職員にレクチャーした内部資料」とのお考えですが、全員協議会は法的根拠のある会議であり行政が意思表示した公文書ではありませんか。</p> <p>(2) 同様の資料が議員に示されましたが、行政内でどのような取り扱いで全員協議会に提出されたのか経緯を伺います。</p> <p>(3) 最終ページ「オシャレな町づくりとは・・・」の記述ですが、住民の皆さんは、大台町が最先端であり、国や県、世界のトレンド(流行)に乗っていることを町に求めているのですか。</p>				町長		

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	8番	議席番号	9番	議員氏名	前納 太輔	質問事項	質問の内容要旨	質問の相手
① 獣害対策について	<p>第3次大台町総合計画では、「目指す将来の姿」として『ユネスコエコパークの自然の恵みを未来へつなぐまち・大台町』と掲げられています。</p> <p>豊かな自然環境や生物多様性は、本町の大きな財産であり、将来にわたって守っていかなければなりません。一方で、アライグマなどの外来生物や野生鳥獣による農作物被害や生活環境への影響が懸念されており、町民の安心・安全な暮らしを守るためにも、獣害対策の重要性はますます高まっています。そこで本町における獣害対策の現状と課題、そして今後の取組を伺います。</p> <p>(1) 町におけるアライグマ・ハクビシンなどの中型獣用わなの貸出実績は、令和7年度の年間貸出件数は「7件」でしたが、今年度は5月の時点で既に「5件」と、ペースが非常に速まっています。この現状を町としてどう分析されているか。また、今後の出沒傾向をどのように予測し、対応していくのか伺います。</p> <p>(2) 外来種対策における住民との連携について伺います。住民がわなを用いて行う捕獲活動を、個人の財産保護に留めず、外来種の捕獲データの収集や地域全体の生息数削減に繋げていくため、行政と住民が一体となった「連携の仕組み」を構築する考えはあるか伺います。</p> <p>(3) アライグマは攻撃性が高く、また「アライグマ回虫」など人体においても重篤な感染症をもたらすウイルスやマダニを保有している可能性があり、住民が安易に近づくことは大変危険です。その危険性について広報紙等を通じて住民へ広く注意喚起を行う考えはあるか伺います。</p> <p>(4) 放置果樹が野生鳥獣の誘引要因となっているのではないかと考えますが、現状の認識と今後の対策について伺います。</p> <p>(5) 今後、大型獣をはじめとする鳥獣被害の深刻化が懸念される中、現在の猟友会の体制が10年後も維持できるとお考えでしょうか。持続可能な体制構築に向けた、町独自の担い手確保に関する</p>							町長

令和8年第2回大台町議会定例会 一般質問通告書

通告順	8番	議席番号	9番	議員氏名	前納 太輔
質問事項	質問内容要旨				質問の相手
	<p>るビジョンをお伺いします。</p> <p>また、国の「地域おこし協力隊（鳥獣対策ミッション型）」の財政措置活用や、既存の若手職員のリスクリング（狩猟免許取得支援）を進め、普段は役場業務、有事には現場で動ける「行政雇用ハンター」を配置することは、町の安全保障において極めて有効と考えますが、見解を伺います。</p>				